

## 令和2年第10回田原市教育委員会定例会

1 開会 令和2年10月16日 午後1時30分

2 閉会 令和2年10月16日 午後2時40分

3 会議に出席した委員

鈴木欽也教育長、天野千栄子職務代理者、金田真也委員  
太田孝雄委員、高崎佐智江委員

4 会議に欠席した委員

5 会議に出席した職員

教育部長

増山禎之

教育総務課長

伊藤英洋

学校教育課長

渡邊宏光

生涯学習課長

山田正勝

スポーツ課長

粕谷幸充

文化財課長

天野敏規

中央図書館長

是住久美子

教育総務課課長補佐兼係長

中村隆憲

6 議事日程

別紙のとおり

## 田原市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 令和2年10月16日（金）

午後1時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

### 1 会議録署名者の指名

### 2 教育長報告事項

### 3 議 題

- (1) 令和3年度教職員定期人事異動方針について
- (2) 田原市図書館協議会委員の任命について

### 3 報告事項

開 会 午後 1 時30分

教育長

本日は、ご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達していますので、令和2年田原市教育委員会第10回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、天野委員と高崎委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ち教育長報告を私からさせていただきます。

教育委員会報告教育長メモをご覧ください。

9月29日、泉中・赤羽根中統合準備委員会が泉市民館で開催されました。残り半年となりました両校の統合に向けての会議でございます。それぞれの部会でよく協議が進められておりました、来年度4月に向けて、様々なことが、ほぼ決まってきた状況でございます。何とかスムーズに予定どおり行けそうであるということでございます。

ただ、新型コロナウイルス感染症の関係で、両校での交流活動や、あるいは泉中学校での閉校記念のいろいろな催しについても、少し制約がかかっている状況で、その中でやれる形でやっていくという状況でございます。

10月1日、辞令交付式。金田教育委員さんが再任をされたということで、市長のほうから辞令の交付がございました。金田委員さんについては、また今後も4年間よろしくお願いいたしますと思います。

10月3日、田原市の中学校新人体育大会。

10月11日、田原市小学校バスケットボール大会。当初10日の予定でしたが、台風の影響で11日に1日ずれました。

それぞれ中学校、小学校で部活動の大会が無事に開催されました。

ここまで小学校の大会も、中学校の夏の大会も、全て中止という形できていたところで、何とか正式な大会を開催できるようになってきたということでございます。ただし、できるだけ参加者を絞り、会場もできるだけ分散し、保護者等の見学者、応援者もなしということで、無観客というような形でやりました。

今年は、小学校のバスケットボール大会を参観に行きまいりました。子ども達の、とても一所懸命に夢中になってボールを追いかけている姿が見られて、久しぶりに子ども達のいい姿が見られたなということで、うれしくなってきました。子ども達が、仲間とともに夢中に

なって、一所懸命やっている姿を見られたということで、部活動について、今重要な課題として検討中ですが、子ども達のそういったあるべき姿というのか、部活動を通して何を育てるのかといったことが少し見られた大会かなと感じました。技能をただ高めたり、勝ち負けにこだわるだけでなく、それ以上に教育的な価値を部活動に見ていく。そういったような部活動というの、何かの形で今後継続していくというようなことも、やはり検討のひとつになっていくのかなと、そんなことも感じた日でありました。

10月8日、福江中学校の学校訪問を皮切りに、この後、11月の初めにかけて順次訪問をしていくこととなります。

10月9日の泉中学校、それから13日の田原東部小学校、15日の清田小学校と4校訪問に行ってみりました。

小中それぞれと、また規模も違う学校へ行って、様々な様子が見られてよかったと感じております。それぞれに学校の特色を生かした教育活動が行われていると感じました。

どの学校でも、とても落ち着いた学校生活を送れている子ども達の姿を見ることができました。コロナ対策はどうしてもとらなくてはならないものですから、それをそれぞれの学校でできる限りのことをやりながら、主体的、対話的で深い学びということを目指して、何とかそれを実現できるようなことを、それぞれの学校で取り組んでくれている、そんな姿がありました。

それから、長期の休業があったために、授業の遅れを、非常に心配しているところではあるのですが、今のところ各学校とも、しっかりと対策を立てて、計画的に3月まで動いているということで、何とか本年度内に遅れた分については、取り戻すことができそうな見込みであるということでございます。

今後ともまた、たくさんの学校を訪問できるものですから、様々なことを、また楽しみに見ていきたいと感じております。

10月16日、本日が田原市教育委員会定例会。

10月17日、田原文化会館で生涯学習課が担当する音楽コンサートが開かれます。

学校の教育活動だけでなく、様々な人たちがかかわる活動についても、コロナ対策を立てつつ、少しずつこういった活動もやれるようにもなってきています。音楽コンサートをホールでやるというもの、かなり久々のことではないかと思ひまして、ウィズコロナの時代であるということで、各学校でも話をしているのですが、心配をして何も行わないということであると、活動がとにかく停滞してしまって、今やるべきことも本当にやれずに過ぎていく。何とかそうではなく、コロナと上手に共存しながら活動を進めていく。コンサートもそういっ

た1つの活動かなというように感じて楽しみにしております。

私のほうからは以上とさせていただきます。

以上の報告につきまして、何かご質問等ありましたらお願いします。  
それでは、ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

では、これより議題に入ります。

初めに、議案第31号「令和3年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

学校教育課長

それでは、学校教育課からお願いをします。

議案第31号「令和3年度教職員定期人事異動方針について」。このことについて、別紙のとおり定めるものとする。令和2年10月16日提出、教育長名です。

次ページをご覧ください。

先日、愛知県教育委員会から、県の正規人事異動方針が出されました。それに基づいて、令和3年度の本市での人事異動の方針を定めるものです。あまり長くありませんので、読み上げさせていただきます。

令和3年度田原市小中学校教職員定期人事異動方針。田原市教育委員会。

市民の信託に応え、本市公立小中学校の一層の充実・振興を図るため、愛知県教育委員会の教職員定期人事異動方針を踏まえ、次の基本方針に基づいて定期人事異動を実施する。

1、適材適所を旨として公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。

2、新しい教育課題に適切に対応するため、職務経験の多様化や効果的な人材育成をねらいとした配置を推進する。

3、全市的な視野に立ち、学校間における教職員構成の適正化を図る。

4、特別支援教育の振興と生徒指導・進路指導の一層の充実を図るため、担当教員の適切な配置に努める。

5、校長・教頭等管理職人事については、豊かな人間性と高い識見を有する人材を登用し、適材適所に配置する。

6、教職員の希望を勘案し、学校運営や教職員の資質・能力が発揮されることを考慮した校長の意見は、これを尊重して人事異動を実施する。

以上であります。

なお、内容については、令和2年度のものの変更点はございません。

以上であります。よろしくお願いします。

教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問等はございますか。

金田委員

1点お願いします。

令和2年から変更なしということですが、次ページの愛知県教育委員会の方針中、5番のところの「男女を問わず」という部分をあえて外してあるということの説明をできたらお願いします。

学校教育課長

「男女を問わず登用する」と県のほうに記載がございます。特に入れなかったということは、男女問わずということで、別に男性、女性だからということではなくやっていることは間違いありませんけれども、結局県全域よりも田原市内としては、どうしても男女比率というか、採用できる枠が狭まっておりますので、男女を問わず任用してまいります。男女比の差はどうしても出ているというようなことで、あえて男女を問わずということ今回入れるようなことはいたしませんでした。

教育長

主旨は、残っておりますので。

県教委の方針としては、できるだけ男女を問わずということになっておまして、田原市教育委員会でも当然そのつもりで、大切に考えているところでございます。

金田委員

はい。わかりました。

太田委員

すみません。

来年度も今年度末よりも管理職の定年退職は、多いですね。

やはり管理職、あるいはミドルリーダークラスの方々、大分もう市全体として不足してきている状態なので、人事関係は大変難しいと思いますけれども、やはりここにある3番の「全市的な視野に立ち、学校間における教職員構成の適正化を図る」という点を特に配慮していただきながら、学校にはそれぞれの状況があり、大変やりくりが難しいと思いますけれども、全市的なところを見ていただけるとありがたいと思いますので、よろしくをお願いします。

学校教育課長

ありがとうございます。そのように配慮してまいります。

教育長

そのほかいかがでしょうか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第31号「令和3年度教職員定期人事異動方針について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、議案第31号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第32号「田原市図書館協議会委員の任命について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

中央図書館長

図書館から失礼いたします。

議案第32号、田原市図書館協議会委員の任命について、田原市図書館協議会委員を別紙のとおり任命するものとする。本日付の教育長名

でございます。

1枚はねてください。

田原市図書館協議会委員の候補者名簿となります。

現行の図書館協議会委員の任期は、本年度の11月30日までとなりますので、12月から2年間、令和4年11月30日までの期間の委員候補の方をこちらに載せさせてさせていただいております。皆さん、再任ということになります。

1つ訂正がございます。2番の本多先生のところですが、伊良湖岬中学校教員となっておりますが、現在福江中学校の教員でありますので、訂正をお願いいたします。

1番の高松小学校校長の河合先生、2番の福江中学校の本多先生につきましては、図書担当の先生ということで、小学校と中学校からそれぞれ1名ずつ図書館協議会の委員に入っております。

3番の中島さんは、豊橋創造大学図書館の職員でして、学識経験者ということで、候補として挙げさせていただいております。

4番の別所さんは、愛知大学の元教授でいらっしゃいます。こちらも学識経験者となります。

5番の一ツ田さんにつきましては、元田原市役所職員でありまして、現在は民間でお勤めされていらっしゃいます。図書館協議会の委員は、どうしても女性ですとか、高齢の方に年齢が偏りがちですので、ビジネス世代の方にも入っていただき、ご意見をいただきたいというように考えております。

6番の内浦さんは、ぱったり堂の主催をされていらっしゃる方で、東三河地域の民話研究などをされていらっしゃいます。豊橋市の教育委員でもいらっしゃり、学識経験者ということで、候補に挙げさせていただいております。

7番の小澤さんにつきましては、NPOたはら広場の副代表理事ということで、中央図書館建設当初から図書館を支えていただいている方です。

8番の北原さんは、障害者教育に長年取り組んでいらっしゃる方です。

9番の永田さんにつきましては、男女共同参画ですとか女性問題に対して、地域で取り組んでおられる方です。

以上の方を図書館協議会の委員候補として挙げさせていただきました。よろしくをお願いいたします。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第32号「田原市図書館協議会委員の任命について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

教育長

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、議案第32号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いいたします。天野委員からお願いいたします。

天野委員

10月11日の小学校のバスケットボール大会につきまして、私は中山小学校に伺いました。コロナ対策で、コートサイドに設けられたベンチも、なるべく間隔を空けていらっしゃって、選手以外はマスクをつけている。応援のほうもあまり大声を出さないようにということで気をつけていらっしゃいました。

毎年思うのですが、本当にバスケットボールほど体型の差が出るスポーツはないのかなと感じます。試合で、亀山小学校にとっても背が大きくて、がっちりした体型の子が1人いまして、その子の独壇場で、自分が外したボールもまた自分で取って、入るまで入れられるという場面がありました。敵ゴールでも体型がいいものですから、すぐにリバウンドが取れてパスを出せて、速攻が決まるというような、リズムがついていて、気づけば大差で勝っていて、引き離されて負けているチームのほうのモチベーションが、どんどん下がっていくのが、素人の私でも分かるぐらいでした。今年は無観客ですので、保護者の方の応援もないものですから、もし応援とかがあったのだったら、動きとも違ったのかなと思うと、かわいそうに思えてしまいました。でも皆さん、本当に一所懸命取り組まれていて、限られた中で練習していらっしゃるという姿が見られて、いい時間を過ごさせていただきました。

13日、学校訪問に田原東部小学校のほうにお邪魔いたしました。子ども達は、マスク越しでも分かるぐらい笑顔がいっぱいで、こちらが癒されるぐらい元気でした。

コロナ対策の工夫として、給食の配膳室が狭いということで、給食時間自体を時間差にされていらっしゃるということでした。午前中の授業時間を40分ということにして、低学年が11時50分から給食時間をスタートしまして、中学年、高学年と時間差でやっていくと、低学年と高学年で20分の差ができてしまうのですけれども、その差によって密を避けるという工夫をされているということで、全校が300人近くの大規模校でいらっしゃいますので、他にも様々な工夫をされているということでした。

授業風景につきましては、先生方皆さんが明るくて、活気あふれる授業風景を見せていただきました。声掛けというか、発言の導き方のテクニックといえますか、すごく上手で感心いたしました。これも楽

しく過ごさせていただきました。

それから、15日は、清田小学校へお邪魔しました。

東部小学校とはがらりと変わりました、全校で91人の小規模校で、1クラス一番多くても18人ということでした。でも小規模校だということを生かして、児童と先生との距離がとても近くて、寄り添った対応をされているということでした。本当に1クラスしかないものですから、保育園のころからずっとクラス替えというものを経験されていなく成長してきて、思春期といいますか高学年になったときに、ちょっと人間関係が難しくなってしまうということを校長先生から伺いました。実際に不登校の子が1名いて、保健室登校ですとか、気をつけていらっしゃる子どもさんも数名いらっしゃるという報告でしたが、本当に先生方の心遣いで、日によってずっと休まれているのではなくて、この間お邪魔したときも、不登校だという子も、今日は教室にいられていますということで、きちんと対応をされているということでした。

両校とも修学旅行を2学期中に計画されているということで、やはり6年生にとっては、大事な行事の1つであるものですから、このまま順調にいていただきたいなと思いました。

この秋の学校訪問は、私もとても勉強させていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

続けて、金田委員をお願いします。

再任されたということで、皆様一言挨拶をさせていただいてもよろしいですか。

はいどうぞ。

なかなか挨拶する機会がないですので、この席を借りて一言。4年間教育委員をやらせてもらって、田原市の教育を支える方たちの前で、とても身の引き締まる思いと、あと恐縮した思い、それが入り混じって4年間過ごさせていただきました。自分の私生活もとても真面目になったということで、周りの人からも、いろいろなたとえられ方をしたのですが、別に教育委員をやったからそうなったのではなくて、やはり皆様方の仕事に対する真面目な姿勢を見ていて、自分の素行で足を引っ張るわけにはいかないなということで、そんなふうになったのかなと自分なりに分析させていただきました。

この重責を引き受けるに当たっては、やはり相当悩みました。引き受けた一番の理由としましては、難しい課題が残っているのを、これから皆様方がどうやって乗り越えていくのか、また、新たに新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の問題が出てきたところを自分なりに微力ですけど、少しでも応援になればと、そんな思いで引き受ける決意をさせていただきました。

教育長

金田委員

教育長

金田委員

教育長  
金田委員

自分は、教育とはかけ離れた世界で、経営のほうをしておりますけれども、自分なりに見たこと、聞いたこと、感じたことをこの教育委員会の中では、まとめて報告をさせていただきたいと、そのように思っております。時には、的が大きく外れたことだったりとか、時には皆様方を傷つけてしまったりすることもあるかもしれないと思いますが、注意を払って発言しますが、もし何か間違ったことを言ったらご指導していただければありがたいと思っております。

4年間よろしく願いいたします。

よろしく願います。

市長から10月1日に辞令を受けてきたのですが、教育委員で10月1日に交付を受けるということが、中途半端なのかなと思ったものの、実際受けてみると4月1日みたいに慌ただしくなくて、市長、副市長、教育長、教育部長、総務部長という顔ぶれの前で辞令をもらうことによって、改めて一所懸命また4年間頑張ろうというそんな気持ちにさせていただきました。

市長には、いろいろな雑談をした中で、この教育委員をやって、とても自分自身勉強になったということと、10月1日を、本日を折り返し地点として、残り4年間一所懸命頑張りますというお約束をさせていただきました。

10月8日の木曜日に教育講演会ということで、田原中部小学校でその道の達人に学ぶ会という講習会に参加させていただきました。

フィットネスインストラクターの杉田さんが、3限目と4限目の指導してくれました。なぜ自分が呼ばれたかということ、小中高と杉田さんと同級生で、とても仲がよかったということで、教頭先生のほうから連絡をいただいて参加させていただきました。本来なら4、5、6年生、1組、2組一緒にやって1時間で終わらせるところを、コロナ対策ということで、1組、2組と2時間に分けて行いました。1組、2組と見ていると、1つのクラスは、ひとつのところからボンと盛り上がり、そこから周りに広がって、盛り上がり、1時間盛り上がり、もう1つのクラスは、ずっとしんとしている中、ふつふつと盛り上がるポイントがあって、そこから一気に盛り上がり、そういった全く違う2クラスを見させていただきました。

あとで後半のクラスのほうの盛り上がるポイントはどうだったのと聞いたら、やはり反応を見ながらやっていて、「あっ、これは」と思ったところを繰り返し、繰り返し行っていくと、だんだん盛り上がり、それで一番盛り上がった理由としては、サポートに入ってくれた先生が、写真を撮りながらイエーイとか、そんなことをやってくれたのも非常に大きなポイントだったと、そのように言っていました。

この杉田さんとも高校を卒業してから1回もあっていなかったのですが、教育委員をやっていろいろなことがあるのですが、すごくよか

ったなどそんなふうに思いました。

次に、10月11日のバスケットボール大会は、午前中に衣笠小学校の体育館で男子を見て、午後から野田小学校の女子を見させていただきました。普段は、総合体育館など、大きな会場でやるところを、小さくなくても、また保護者や観客がいなくても、子ども達は、いつもと変わらない様子で、とても楽しそうにやっておりました。

ただ、強いて言うなら、チームプレーの練習ができていなかったということで、全くできていないのは仕方ないとして、シュートだとかドリブルだとかパスといったものは、家でやっている子とやっていない子の個人差がすごく出ていて、学校が取り組まないと、家では教えないところというのは、たくさんあるんだなというのをすごく感じました。働き方改革で部活動とかが考えられているのですけれども、なくなったら、全く動かない子が出て来ても仕方ないのかなというそんな印象を受けたバスケットボール大会でした。

次に、10月15日、田原市子ども・子育て会議に参加させていただきました。令和2年から6年の子ども・子育て支援事業計画というものが配られ、150事業あって、スポーツ課も生涯学習課も入っていて、あと新しくできた「親子交流館すくっと」も入ってまして、150事業のうちの37事業が新規であったものの、10事業はやめましょうということで見直したのですけれども、やはり27事業増えているということは仕事が増えているということで、もう少し仕事の精査をしたほうがいいのかと、そんな印象を受けました。

あともう1つ報告事項として、令和4年4月からあかばねこども園が開園する。それに向けていろいろな準備がされていました。来年ぐらいから民間保育士を募集しだして、そして令和3年4月からは、高松、赤羽根、若戸保育園には合同保育を実施するということでした。ただ、その3つが合同に保育をするわけではなくて、各それぞれのところに、民間の保育士と現状の保育士さんが混じって保育をする。そういったことが行われて、令和4年4月1日から、あかばねこども園が開園するという報告と、あともう1つ、田原市児童発達支援センターが開設されるということで、令和3年4月から旧南部保育園にあおぞら園という保育園の障害者施設が開設されます。今まで田原市には、そういった障害者施設というのは専門的なものがなくて、そういった児童発達、専門的な支援を受けるには、豊橋市のあゆみ学園というところに通っていたり、親子そろっての教室というのが週に2回とか3回とかあるみたいで、そういったところに参加している人が、こういったあおぞら園に集まるということで、とても期待の高い事業だとそんな印象を受けました。

ただ、やはり期待が高い分、こういう人はいいいのかとか、定員が18人ですけれども、それでは少ないのではないのかとか、いろいろな要望

が次から次へとあがってきて、期待がある分大変な事業なのかなと、そんな印象を受けました。

最後に全体的な質問ということで、田原市の保育園では老朽化とかが進んでいるのですけれども、今後統合とか、そういったものはないのかという質問に対して、事務局のほうは、今のところこれはあかばねこども園が最後ですという形だったのですけど、コミュニティ会長さんが、教育委員会では学校未来創造計画というのを策定して進めているということをしていて、そういったようなことをしてほしいということと、やはり各個人個人その地区にいる人は、自分の地区のことしか見ていないので、こういった未来創造計画を子育て支援課のほうでもできればつくって考えていってほしいという、そんな要望がされておりました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続きまして、太田委員よろしくお願ひします。

私は教育委員としては、10月11日の小学校バスケットボール大会へ大草小学校と赤羽根小学校、2会場のほうを見させていただきました。

コロナ禍の中で、担当の方は、いろいろどんなふうにするかなど、大変ご苦労されたと思いますけれども、とてもコンパクトでスムーズに運営ができていたと思います。内容につきましては、先ほど皆さん方がおっしゃられたことと同じですが、1つ感じたのは、ステージの上に、録画しっぱなしのビデオが置いてありまして、多分、今回見られなかった保護者だとか、他の学年の児童だとかに見てもらえるように活用するのではないかと思います。テレビなどで、運動会で演技をする学年だけが運動場で演技をして、応援する子どもたちは校舎の中で、テレビのモニターか何かで応援するという学校のことをやっていました。コロナの中では、やはりそういった、いろいろなメディア機器を活用することによって、多少なりとも情報を共有できるような工夫ができるといいなと思います。保護者の中には、自分の子どもさんの活躍の様子を見たかった方もあったと思うのですけれども、市内同じようにやれたことはよかったと思います。中止も考えたと思いますが、やはり、やることによって得られるものは大きいなということを感じました。

バスケットボールなど集団競技でいうと、チームプレーがすごく大事ですので、本来なら例えばパスをする人や、パスを受ける人、お互い声を出すことによってプレーをしていくと思うのですけれども、そのあたりアイコンタクトとか、ジェスチャーだとか、そういったものも練習の中で得られているのか、割と子ども達は、無言のままプレーが進んでいると思いました。かえってベンチの監督であったり、ステージの上の校長先生であったりの声が少し目立ったぐらいでしたの

教育長

太田委員

で、子ども達はとてもスムーズにやられていました。

それから、個人的に9月26日に神戸小学校のミニ運動会に、午前中で参加させていただきました。ミニ運動会というように、運動会を小規模にして、内容としては各学年の短距離走、それから競争遊戯、学年の競争遊戯は保護者を入れた学年もありましたけど、それぞれ学年のほうで工夫した競争遊戯、それから伝統の神戸っ子ソーランということでした。入場行進だとか退場だとかも、全て控え席からそのまま行くだとか、最初の校長先生のお話も、子ども達は全て控え席にそのままいて、校長先生がトラックの真ん中で、子ども達の興味を引くようなお話をされたことも工夫ができていたと思います。

それから、神戸小学校は大変運動場が広いですので、人数が多くても子ども達の席もゆったりとしていましたし、保護者の席も、見る場所もそんなに場所を取らなくても十分見ることができたのですが、正面の向かい側のところに、演技する学年の優先スペースをつかって、交代でそこを見るような、演技学年優先のスペースを取ってあり、その移動も、またスムーズにできたと思います。

このコロナの中で、先ほどのバスケットボール大会、運動会もそうですし、これから修学旅行や学芸会など、いろいろな行事があると思います。我々医療の専門家ではないですし、学校現場の先生方もそうだと思いますけれども、大変不安な中でいろいろなことを話しながら進めてみえると思いますけれども、何らかの形で実施できることがウィズコロナかなと思います。やめることは簡単だと思いますけれども、何とか実施できる糸口を見つけるために、いろいろ知恵を出し合って、工夫して進めていただけていることが、大変すばらしいなと思いました。これからまた、学芸会も修学旅行もいろいろあると思いますけれども、また各学校のほうで学校訪問ありますので、その中でいろいろ様子を勉強させていただきたいと思います。

以上です。

ありがとうございました。

最後に高崎委員をお願いします。

10月9日に泉中学校訪問、それから延期されました10月11日のバスケットボール大会は、田原中部小学校に参加をさせていただきました。

2点申し上げたいと思います。

泉中学校の学校訪問ですが、少し早く着いたものですから、校長室で、校長先生と2人で話をさせていただきました。

その中で、校長先生がおっしゃったのは、まず閉校のお話でございました。校長先生が、母校はどこなのと言われたときに、自分は伊良湖岬中学校がなくなってしまったから、成章高校としか言えないみたいなことをおっしゃったときに、やはりいいことばかりでなく、地域の方のさみしい思い、そういったものも直接感じさせていただきました。

教育長

高崎委員

た。ですが、その帰り道に、野田小学校・中学校出身の女性から昔伺った話が、脳裏をよぎりました。彼女は小学校のときに少しつらい思いをされまして、それが同じメンバーのまま保育園、小学校、中学校に行ってしまうと成人式まで出られなかった。そして大人になって、同窓会があったときに、その子につらい思いをさせてしまった方が、同窓会に誘ってくれたのだけれども、私は出られなかったんだよという思いを聞いたことがあります。ですので、泉中学校から赤羽根中学校に通うのは、とても大変なこともあると思うのですけれども、新しい空気が流れて、そして、お子さん達の間関係が広がっていくというのも、成長の上ではよいことなのだろうなということを思いました。

そして2番目に、泉中学校のテーマというのが、「泉の心 薫る学校」というテーマでした。これはとても校長先生のお人柄がにじみ出ているような、そしてお子さんたちが素朴で素直な、すくすくと成長されていらっしゃる、そんな泉中学校の様子を垣間見ることができました。

3点目に、先生の説明の中で、メールでの学習相談というのを受け付けていたそうです。数は少なかったそうですけれども、このお話を伺ったときに、先生に対しては敷居が高くてお話しができない子どもでも、メールを通じて質問ができたり、そういった表現の仕方が違うのなら得意な子もいると思うので、これはとても一歩成長するのにはいいことだなということを思いました。

あと、1点残念だったのが、教務主任の先生が海外経験をおそらくニューヨークかどこかで積まれていると思うので、そういったことも少し伺えると私としたらうれしいなということを思いました。

あと、授業で2クラスほど、タブレットを使われて授業をさしてみえたと思うのですけれども、とてもいいなと思ったのですが、こうした授業を拝見すると、時代に沿って先生方も創意工夫されて、とても大変だなと思うのですが、追いついていけない部分もまた、多々あるのかなということを感じました。

また、タイマー等を使われて、お子さんの意欲、それからゲーム形式にしてお子さんの意欲を高めるようなことをされていらっしゃいました。あと、オールイングリッシュでお子さんたちに声掛けをされて、このことに関しましても先生方、すごく努力されているなど、時代について行ってらっしゃるんだなということを思ったのですが、やはり中学校時代の耳はすごく大事だと思うので、たくさんネイティブの英語を聞く機会があってもいいのかなということも思いました。

そして、学校の課題として、挑戦、協働、創造というテーマがあったのですけれども、先生方の授業にも、この3つのテーマが組み込まれていて、授業の組立でもおそらくしやすいですし、お子さんの発達にも、この3つのテーマを取り入れられて、将来的に成長されるお子さんの楽しみな姿が想像できました。

あと、学校としては、手作りのコロナ対策で大変先生方の創意工夫がされていることを感心いたしました。

最後に、校長先生のご挨拶で、先生方の成長というのは管理職の力が問われるところで、子どもの成長というのは、教師の力が問われるところだということ伺い、とても身にしみました。子育てを経験した一母親として思いますのは、やはり学校でいろいろあったときに、責任は親にあるということを思いました。親として、迷ったり、悩んだり、壁に当たったりしたことがたくさんあったのですけれども、それが今こうして伺ったときに、いろいろ感じさせていただける私の財産になっているかなということを思いました。

次にバスケットボール大会に関して申し上げます。

おそらく経験されていらっしゃる先生方が審判をなさって、そして、お子さんたちをご指導されているご苦労というのは、大変察するに難しいのですけれども、私は実は小学校6年生から高校卒業するまでバスケットボールをしておりまして、そして公立高校の中では強豪校というところにいたものですから、いろいろな楽しみ方をさせていただきました。

お子さんたちの競技を拝見したのですが、先ほど天野委員がおっしゃったみたいに、とても体格のいいお子さんが若戸小にいらっしゃって、そこにボールを集めると点は取れてしまうのですが、若戸小学校の校長先生がみえたものですから、彼のことを聞いたら、「彼はハートがとても優しいんだよ」というようなことをおっしゃっていました。ああいう優しいお子さんが、活躍する場で自己肯定感を高めていただけるといいなというように思いました。

あと、バスケットボールというのは、初心者の子がすると格闘技になりがちになるところが、マナーを守っていらっしゃるお子さんが多かったので、先生方のご指導をととても感心いたしました。

あと、福江小学校の校長先生もいらしていたので、お話しをさせていただいて、10月22日に文化芸術鑑賞授業というのがあるらしくて、「栗コーダーカルテット」の方たちの演奏会が生であるそうです。この方たちは、3年生の教科書にも載っていたり、ピタゴラスイッチで演奏していたりとかで、校長先生がとても少ない予算の中で、すごく努力されていらっしゃるということで、私も見たいなということをお伝えしてしまいました。いずれにしても先生方のすごい努力と、それから福江小学校長に関しましても、教育長も部長もそうですけれども、文化的なことにととても深い方でいらっしゃると思うので、子育て中によく「本物を見なさい、子ども達に本物を見せてあげなさい」というようなことを言われましたが、そういったことをくださる方が周りにいらっしゃって、とてもお子さんたち恵まれていらっしゃるなということを思いました。

どこに行ってもコロナ対策に対して、知恵と工夫をされていて、頭が下がる思いだったのですけれども、こうした大人が知恵と工夫を施すということは、お子さんたちによい後姿を見せているのだろうなというようなことを思いました。

そして最後に、金田委員が先ほど身の引き締まる思いと恐縮する思いとおっしゃっていましたが、私もそうでした、一番困るのが校長室で何を申し上げていいのかということでした、困ったなと思うのですが、1人の母親として、子どもを育てた母親としての意見をお伝えしたらいいのかなというようなことを再確認いたしました。私が、失言をしたり、失礼な行動をいたしました場合は、遠慮なくご注意、ご指導いただけたらと思います。

以上でございます。

教育長

ありがとうございました。

次に報告事項（2）小中学校への寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

教育総務課から、教育関係の寄附についてご報告いたします。

令和2年度教育関係小中学校寄附一覧をご覧ください。今回は、5番と6番になります。

まず、5番につきましては、先月9月14日に匿名希望の方から田原中学校へということで、田原中学校消耗品費として現金50万円の寄附がございました。こちらにつきましては、12月の補正予算に歳入歳出予算を組ませていただくという段取りとなります。

もう1件が10月7日に田原パシフィックロータリークラブ様から田原中部小学校のほうに寄附がございまして、教育環境の充実ということで、ロールすのこを2巻と体育館入りロスロープ1台、金額にして18万2,380円相当です。こちらのほうにつきましては、物品の寄附ということで、ロールすのこ2巻といいますのは、よく体育館の入り口にあり、靴を脱いで、直接コンクリートに足を乗せないようにというふうなもので、また、学校訪問に行っていれば分かると思います。それから体育館入り用のスロープということで、体育館の入り口に段差があるということで、こちらのほうにスロープを体育館用の規格にしてもらって、つくってくれたということで、車いすの方等、障害者の方も安全に入れるといったような2つの寄附がございましたのでご報告させていただきます。

以上です。

教育長

ただいま事務局から説明がありました小中学校への寄附について、ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他ですが、事務局から何かございますか。

教育総務課長

皆さんのほうにお配りさせていただいております、教育委員出席日程（案）をご覧ください。来月の教育委員会11回目の定例会につきましては、11月12日木曜日、本日と同じ時間で、今度は場所が200会議室ということになっていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

表の中段以降の学校訪問、それから教育関連イベント等ございます。学校訪問につきましては、既に委員さんのお名前がありますので、またご確認ください。

私からは以上です。

教育長

では、そのほか何かありますでしょうか。

生涯学習課長

生涯学習課です。

成人式につきまして、今回は資料をご用意して改めて説明したいと思ひます。よろしくお願ひします。

令和3年の田原市成人式でございます。コロナ禍での開催となり、関係者各位の皆さんにつきましては、ご心配をかけているところではございますけれども、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った上で、今のところ開催を予定しております。

日程につきましては、令和3年1月10日日曜日でございます。開催方法ですけれども、分散二部制、中学校区別での開催となります。会場は、田原会場は田原市総合体育館アリーナ、渥美会場は渥美文化会館文化ホールにおいて開催します。田原会場につきましては、二部制を取ります。

式典の開始時刻ですけれども、両会場とも10時から開催します。田原会場の二部につきましては、11時30分から開催をいたします。

田原会場の一部につきましては田原中学校区、二部につきましては田原東部中学校区、旧野田中学校区、赤羽根中学校区となります。

渥美会場につきましては、福江中学校区、旧伊良湖岬中学校区、泉中学校区となります。

教育委員の皆様におかれましては、中学校区別への式典へのご案内を後日させていただきますので、ご承知いただきますようよろしくお願ひしたいと思ひます。

裏面を見ていただきますと、式典の内容、タイムスケジュール等が書いてございます。参考として、一番下に、令和2年のときの成人式の対象者及び出席者数が書いてあります。大体1会場200名弱ぐらいの参加を見込んで開催を予定しております。こちらの周知につきましては、ホームページには10月6日にアップがしてございます。

それと報道機関への投げ込みは10月10日にさせていただきました。広報たはらにつきましては、この11月1日号にもう少し詳しくご案内させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

教育長

ただいまの説明につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

スポーツ課長

それでは、それ以外に。

失礼いたします。スポーツ課でございます。

去る、10月3日のオフロードトライアスロンと、10月11日のスポーツギネス大会につきましては、皆さん方にご心配おかけしましたが、何とか開催することができました。ありがとうございました。

太田委員のおっしゃるとおり、やることで得たものというのは、非常に感じられました。ただ、コロナウイルスとの戦いでございましたので、10月3日に行われたオフロードについては、もう2週間程度たちますので、何もなかったのかなと思いますけれども、10月11日に行われましたスポーツギネス大会については、まだまだ心配なところもあります。今のところ何も無く無事に終了しました。

内容を簡単に申し上げますと、オフロードトライアスロンについては、定員130名で、129名の申し込みがありました。この1名足らなかったというのは、リレー形式において、1人の方が泳いで、自転車とランニングのところは1人かぶっておりましたので、130名の定員でしたけれども129名ということでした。実際のところは、116名のエントリーしかございませんでした。やはり、当日棄権ということも想定の中にもありましたけれども、若干ながら減ったという、また広報11月号に載りますけれども、100名前後の方が完走いたしました。

そしてスポーツギネス大会ですけれども、これも当初すごく心配をしておりましたけれども、無事に終わることができました。人数的には参加者297名だったと思います。300名弱の方が参加をしていただきまして、当日はバスケットボール大会、そして中学校のほうはどうもその翌日からテストということで、中学校の参加のほうが少ないとはいえ、300名ぐらいの人数に出えていただいたのは非常に大きかった。一昨年が363名、370名近くだったものですから、そういえば今回、コロナ禍においてもこれだけの関心度ということがあったというのは、非常にやった意味は大きかったのではないかと思いますので、お礼かねがねご報告させていただきます。

ありがとうございました。

教育長

今の件につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

そのほか、ありますでしょうか。

お願いします。

文化財課長

文化財課です。

チラシとパンフレットを配らせていただきました。

ふるさとの歴史展というものが田原市博物館のほうで、10月3日から11月29日までやっております。やはり今、コロナ禍ですので、お客さんもなかなか来館されない状況ではあるのですが、ただ10月11日、渡辺華山の命日の日は博物館を無料開放しておりまして、その日は130名ほど来館者の方に来ていただきました。通常ですと、土日でも30名

教育長

来るかな、来ないかなぐらいの数で、平日に至っては本当に10名、20名。そんな感じで今、開催しております。ただ、無料開放ということで、皆さん来ていただいて、いろいろなものを見ていただけるというのは、大変ありがたいことですので、これからも、今回の企画展については11月29日までですけど、周知のほうをして、いろいろな方に来ていただきたいと思っております。

もう1つ、縄文祭りというのが、シェルマ吉胡のほうで、11月8日にあります。今回は、第5回ということになります。例年200名前後の方に参加していただいているのですけれども、今年はコロナ禍ということで規模を縮小して、100人ぐらいの数を想定して、今準備しております。これもホームページ等で周知しておりますので、ご興味のある方に来ていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

以上です。

ただいまの件につきまして、ご質問ありますでしょうか。

ぜひ、ご参加をお願いしたいと思います。

そのほかいかがでしょうか。

よろしかったでしょうか。

それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。ご協力どうもありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第10回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後2時40分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員